



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 タカチホ
 コード番号 8225 URL <http://www.kk-takachiho.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 久保田 一臣
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 寺澤 和宏 TEL 026-221-6677
 四半期報告書提出予定日 2020年2月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	7,623	△8.8	255	△23.3	254	△23.3	212	△8.4
2019年3月期第3四半期	8,356	△0.2	332	13.5	331	17.7	231	15.8

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 212百万円 (△7.1%) 2019年3月期第3四半期 228百万円 (14.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	338.97	—
2019年3月期第3四半期	369.94	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	4,878	2,160	44.3	3,453.00
2019年3月期	5,270	1,966	37.3	3,143.36

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 2,160百万円 2019年3月期 1,966百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,600	△8.7	250	△10.9	250	△10.3	150	△19.0	239.77

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	727,500株	2019年3月期	727,500株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	101,909株	2019年3月期	101,909株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	625,591株	2019年3月期3Q	625,591株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料P.3「（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢が改善するなど、緩やかな回復基調が続いていますが台風、雪不足といった自然環境の変化が国内の経済環境に大きな影響を及ぼしたほか、海外では中国の景気減速、米中通商問題の動向、英国の欧州連合離脱問題、日韓関係の悪化の影響など、未だに先行き不透明感が強まっております。また、個人消費の拡大に対する期待感はあるものの、消費増税に伴う買い控えや実質所得の伸び悩みと節約志向の継続から個人消費に力強さを欠き、本格的な安定成長を実感するまでには至っておらず、当社グループを取り巻く環境は依然として厳しい状況で推移しております。

このような状況の下、当社グループでは「新たな価値創造へのチャレンジ」を年度スローガンとし、みやげ事業を中心に販路拡大策の実施や社内業務の改善に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は7,623百万円（前年同四半期比8.8%減）、営業利益は255百万円（前年同四半期比23.3%減）、経常利益は254百万円（前年同四半期比23.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は212百万円（前年同四半期比8.4%減）となりました。

セグメント別業績は次のとおりであります。

①みやげ卸売事業

みやげ卸売事業は、当社及び当社子会社により地域の特色を活かした商品開発と当社開発のオリジナル商品群の提案による販路拡大を進めてまいりました。この結果、売上高は5,176百万円（前年同四半期比1.4%増）となりましたが、営業利益は370百万円（前年同四半期比1.1%減）となりました。

②みやげ小売事業

みやげ小売事業は、新規出店による売上増加が見られましたが、契約期間満了に伴う一部店舗の退店の影響もあり、売上高は869百万円（前年同四半期比14.5%減）となり、営業損失は5百万円（前年同四半期は8百万円の営業利益）となりました。

③みやげ製造事業

みやげ製造事業は、当社や各地の当社子会社及び各観光地の取引先の地域性を活かしたオリジナル商品の開発と提案による積極的な生産活動に努めてまいりました。この結果、売上高は192百万円（前年同四半期比12.1%増）となり、営業利益は57百万円（前年同四半期比16.7%増）となりました。

④温浴施設事業

温浴施設事業は、既存店において各種イベントの企画・情報発信・実施と共に、接客・サービスのレベルアップ及びリピーターの増加に努めてまいりましたが、昨年7月における長野県外5施設の事業譲渡による店舗数減少により、売上高は477百万円（前年同四半期比60.4%減）となり、営業損失は77百万円（前年同四半期は15百万円の営業利益）となりました。

⑤不動産賃貸事業

不動産賃貸事業は、長野市内の「ショッピングタウンあおぞら」のテナント管理を中心に営んでおります。これらの賃料収入は80百万円（前年同四半期比1.1%増）となり、営業利益は35百万円（前年同四半期比5.8%増）となりました。

⑥アウトドア用品事業

アウトドア用品事業は、ライトアウトドア分野の充実を図り、女性客・ビギナーキャンパーの新規取り込みに努め購買意欲を喚起すると同時に、ユーザーに合わせた各種情報の収集とSNS等による情報発信を積極的に行ってまいりました。また、各種展示会における受注が好調に伸び、この結果売上高は493百万円（前年同四半期比8.4%増）となり、営業利益は52百万円（前年同四半期比30.6%増）となりました。

⑦その他事業

その他事業は、主に長野県内におけるギフト店、飲食店、和洋菓子直売店等の運営が含まれ、催事・イベント等販売活動を積極的に推進してまいりました。この結果売上高は332百万円（前年同四半期比3.3%増）となりましたが、営業利益は昨年8月下旬に新潟県妙高市の道の駅あらい内に開店した「そばどころ 式枚目」の出店経費が影響し9百万円（前年同四半期比47.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は2,308百万円となり、前連結会計年度末に比べ554百万円(31.6%)増加いたしました。これは主に現金及び預金が18百万円減少したものの、商品及び製品が201百万円、受取手形及び売掛金が393百万円それぞれ増加したことによるものであります。固定資産は2,569百万円となり、前連結会計年度末に比べ946百万円(26.9%)減少いたしました。これは主に有形固定資産が398百万円、投資その他の資産が511百万円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、総資産は4,878百万円となり、前連結会計年度末に比べ391百万円(7.4%)減少いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は1,696百万円となり、前連結会計年度末に比べ126百万円(6.9%)減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が450百万円増加したものの、短期借入金443百万円、流動負債その他が90百万円、賞与引当金が35百万円それぞれ減少したことによるものであります。固定負債は1,021百万円となり、前連結会計年度末に比べ458百万円(31.0%)減少いたしました。これは主に長期借入金が311百万円、資産除去債務が258百万円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は2,718百万円となり、前連結会計年度末に比べ585百万円(17.7%)減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は2,160百万円となり、前連結会計年度末に比べ193百万円(9.9%)増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益212百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は44.3%(前連結会計年度末は37.3%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年5月13日開示の2019年3月期決算発表時と変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	336,029	317,840
受取手形及び売掛金	761,582	1,154,663
商品及び製品	533,457	734,535
原材料及び貯蔵品	64,862	81,849
その他	60,043	21,055
貸倒引当金	△1,625	△994
流動資産合計	1,754,349	2,308,950
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	869,584	677,705
土地	1,100,669	910,551
その他(純額)	200,910	184,033
有形固定資産合計	2,171,165	1,772,290
無形固定資産	206,246	170,794
投資その他の資産		
敷金及び保証金	658,052	245,521
その他	489,787	390,628
貸倒引当金	△9,547	△9,616
投資その他の資産合計	1,138,291	626,533
固定資産合計	3,515,703	2,569,618
資産合計	5,270,052	4,878,568
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	429,470	879,524
短期借入金	974,421	531,011
未払法人税等	16,520	8,029
賞与引当金	55,681	20,221
返品調整引当金	2,944	3,731
ポイント引当金	13,514	14,377
その他	330,114	239,555
流動負債合計	1,822,666	1,696,450
固定負債		
長期借入金	1,058,014	746,900
役員退職慰労引当金	16,862	20,775
資産除去債務	354,980	96,009
その他	51,070	158,265
固定負債合計	1,480,927	1,021,950
負債合計	3,303,594	2,718,401

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	708,318	708,318
利益剰余金	467,317	660,607
自己株式	△200,363	△200,363
株主資本合計	1,975,273	2,168,562
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△8,814	△8,395
その他の包括利益累計額合計	△8,814	△8,395
純資産合計	1,966,458	2,160,167
負債純資産合計	5,270,052	4,878,568

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	8,356,787	7,623,415
売上原価	6,226,338	5,630,738
売上総利益	2,130,448	1,992,677
販売費及び一般管理費	1,797,515	1,737,316
営業利益	332,933	255,361
営業外収益		
受取利息	3,705	1,435
受取配当金	525	527
受取事務手数料	1,444	1,318
その他	5,872	4,680
営業外収益合計	11,547	7,961
営業外費用		
支払利息	12,283	8,492
その他	484	508
営業外費用合計	12,768	9,001
経常利益	331,712	254,321
特別利益		
固定資産売却益	175	—
受取補償金	653	—
事業譲渡益	—	94,290
資産除去債務戻入益	6,736	—
特別利益合計	7,565	94,290
特別損失		
固定資産売却損	—	18,536
固定資産除却損	218	433
減損損失	15,028	20,516
特別損失合計	15,247	39,486
税金等調整前四半期純利益	324,030	309,125
法人税、住民税及び事業税	41,933	11,697
法人税等調整額	50,668	85,370
法人税等合計	92,601	97,067
四半期純利益	231,428	212,057
親会社株主に帰属する四半期純利益	231,428	212,057

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	231,428	212,057
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,596	418
その他の包括利益合計	△2,596	418
四半期包括利益	228,832	212,476
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	228,832	212,476
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	みやげ 卸売事業	みやげ 小売事業	みやげ 製造事 業	温浴施設 事業	不動産 賃貸事業	アウトドア 用品事業	計				
売上高 外部顧客への 売上高	5,104,067	1,017,972	171,761	1,206,041	79,830	455,075	8,034,748	322,038	8,356,787	-	8,356,787
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	119,327	-	273,783	40	17,972	-	411,123	303,057	714,181	△714,181	-
計	5,223,394	1,017,972	445,545	1,206,081	97,802	455,075	8,445,871	625,096	9,070,968	△714,181	8,356,787
セグメント 利益	374,181	8,730	48,879	15,519	33,422	39,880	520,614	18,033	538,647	△205,714	332,933

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ギフト事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等の全社費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な減損損失はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	みやげ 卸売事業	みやげ 小売事業	みやげ 製造事 業	温浴施設 事業	不動産 賃貸事業	アウトドア 用品事業	計				
売上高 外部顧客への 売上高	5,176,436	869,910	192,505	477,893	80,698	493,153	7,290,597	332,818	7,623,415	-	7,623,415
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	66,193	-	283,978	-	18,000	-	368,173	247,668	615,841	△615,841	-
計	5,242,629	869,910	476,484	477,893	98,699	493,153	7,658,770	580,486	8,239,257	△615,841	7,623,415
セグメント 利益又は 損失(△)	370,230	△5,745	57,023	△77,009	35,372	52,093	431,965	9,554	441,520	△186,159	255,361

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ギフト事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等の全社費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な減損損失はありません。